

# 中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】S-C43

申請日	2022/8/9	承認日	2022/9/12	委員長	印
レジメン登録	2022/9/12	仮承認日		承認者	印

sLV5FU2	病名	大腸癌	外科	提出医	Dr
---------	----	-----	----	-----	----

**対象** 治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌(L-OHP、CPT-11など併用が不可能な場合)

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m <sup>2</sup> 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)															
			1	7	15	20	22	25	30									
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	div	○															
フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup>	div	○															
フルオロウラシル	2,400mg/m <sup>2</sup>	div	○															

投与間隔・休薬期間等: 14日=1コース

←————— 1コース —————→

【投与処方例(前投薬など)】治療前には、CVポートを留置すること

※mFOLFOX6、FOLFIRIのL-OHPやCPT-11がアレルギーや副作用により投与出来ない場合のみ使用可能。

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤-1】 生理食塩液100mL+グラニセトロン静注液3mg 1A+デキサート4mg 2A /div30分
- ③ メイン【赤-2】 5%ブドウ糖液250mL+レボホリナート /div 2時間
- ④ メイン【赤-3】 生理食塩液50mL+フルオロウラシル400mg/m<sup>2</sup> /div 全開
- ⑤ メイン【白】 生理食塩液1000mL+フルオロウラシル2400mg/m<sup>2</sup> /civ 46時間
- ⑥ 【ルアーロック】へパリンNaロックシリンジ (終了後ポートフラッシュ)

※ インフューザーポンプ使用の場合(外来外来療法)

携帯型⑤' 生理食塩液100mL+フルオロウラシル  
(生食の量は5-FUとの合計が140mLになるように調整) /div 46時間 (3.7mL/hr)

参考文献: Tournigand C, et al.: 1998 ASCO: abst #1052

当院患者治療目的以外は  
使用不可